

古河電工グループ 2025年度第1四半期決算

2025年8月7日

古河電気工業株式会社

代表取締役 兼 執行役員常務 財務本部長 青島 弘治

本資料は、株主、投資家、ならびに報道関係者の皆様に当社の活動内容に関する情報を提供することを目的として作成しています。

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

Agenda

25年度Q1実績および25年度通期予想

- 25年度Q1実績のポイント
- 25年度Q1実績 -要約P/L
- 25年度通期予想について
- 25年度通期予想 -セグメント別 売上高・営業利益
- 25年度Q1実績 -売上高・営業利益の増減要因
- セグメント別 売上高・営業利益
- 25年度Q1実績 -要約B/S
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費

Appendix

25年度Q1実績および25年度通期予想

25年度Q1実績のポイント

■ 前年比増収、各段階損益で増益

(単位：億円、円/kg、円/米ドル)	FY24_Q1	FY25_Q1	前年比
	a	b	b-a
売上高	2,736	2,937	+ 202
営業利益	35	84	+ 49
経常利益	71	78	+ 7
親会社株主に帰属する 当期純利益	47	52	+ 5
銅建値 平均	1,570	1,424	▲146
為替 平均	156	145	▲11

25年度Q1実績-要約P/L

(単位：億円、円/kg、円/米ドル)	FY24_Q1	FY25_Q1	前年比	主な増減内訳 (Q1)
	a	b	b-a	
売上高	2,736	2,937	+202	10ページ参照
営業利益	35	84	+49	11ページ参照
(率)	1.3%	2.9%	+1.6	
受取/支払利息	▲ 19	▲ 20	▲ 0	
持分法投資損益	45	21	▲ 24	持分法適用関連会社の異動
為替損益	10	▲ 23	▲ 33	
経常利益	71	78	+7	
(率)	2.6%	2.6%	+0.1	
特別損益	▲ 18	▲ 1	+17	・特別利益：▲6 (9→3)
法人税等	3	▲ 18	▲ 21	・特別損失：+23 (▲27→▲4)
非支配株主に帰属する 当期純利益	▲ 8	▲ 7	+1	
親会社株主に帰属する 当期純利益	47	52	+5	
(率)	1.7%	1.8%	+0.0	
銅建値 平均	1,570	1,424	▲146	
為替 平均	156	145	▲11	

25年度通期予想について

■ 全社の通期予想は据え置き

- 関税影響をアップデート
- 一部セグメントで売上・営業利益を見直し（8ページ参照）

（単位：億円、円/kg、円/米ドル）	FY24	FY25 予想*	前年比
	a	b	b-a
売上高	12,018	12,000	▲ 18
営業利益	471	530	+ 59
経常利益	486	520	+ 34
親会社株主に 帰属する 当期純利益	334	360	+ 26
銅建値 平均	1,478	1,335	▲ 143
為替 平均	153	140	▲ 13

* 2025/5/13公表

（参考）米国関税措置の影響と対応

関税措置による直接影響	対応
コスト増加 ● 原材料・製品等の購入 ● 販売時の関税負担 など 情報通信ソリューション 自動車部品・電池	コスト増をリカバー ● 価格転嫁 ● サプライチェーンの変更 ● 貿易条件変更 など

- コスト増に対する各種対応は、現時点では概ね期初想定通りの進捗

25年度通期予想-セグメント別 売上高・営業利益



変更点

- 自動車部品・電池：古河電池(株)の非連結化のタイミング（Q3⇒Q4）
- 機能製品：台湾ドル高の影響（銅箔）、主要顧客の需要変化に伴う減収（半導体製造用テープ）

(単位：億円)	売上高			営業利益		
	FY24_Q1	FY25_Q1	前年比	FY24_Q1	FY25_Q1	前年比
	a	b	b-a	c	d	d-c
インフラ	687	803	+115	▲ 28	1	+28
情報通信ソリューション	370	470	+100	▲ 40	▲ 7	+33
エネルギーインフラ	318	333	+15	13	8	▲ 4
電装エレクトロニクス	1,672	1,737	+65	42	66	+24
自動車部品・電池	941	962	+21	36	56	+20
電装エレクトロニクス材料	731	774	+43	6	10	+5
機能製品	359	373	+14	34	40	+6
サービス・開発等	82	97	+15	▲ 12	▲ 21	▲ 8
連結消去	▲ 65	▲ 73	▲ 8	▲ 1	▲ 2	▲ 1
連結合計	2,736	2,937	+202	35	84	+49

売上高					営業利益				
FY24	FY25 前回予想*	FY25 予想	前年比	前回 予想比	FY24	FY25 前回予想*	FY25 予想	前年比	前回 予想比
e	f	g	g-e	g-f	h	i	j	j-h	j-i
3,091	3,750	3,750	+659	—	58	140	140	+82	—
1,670	2,350	2,350	+680	—	▲ 40	75	75	+115	—
1,421	1,400	1,400	▲ 21	—	98	65	65	▲ 33	—
7,364	6,400	6,650	▲ 714	+250	326	250	270	▲ 56	+20
4,095	3,450	3,700	▲ 395	+250	276	200	220	▲ 56	+20
3,270	2,950	2,950	▲ 320	—	50	50	50	0	—
1,470	1,850	1,600	+130	▲ 250	141	190	170	+29	▲ 20
348	400	400	+52	—	▲ 54	▲ 50	▲ 50	+4	—
▲ 256	▲ 400	▲ 400	▲ 144	—	▲ 1	0	0	+1	—
12,018	12,000	12,000	▲ 18	—	471	530	530	+59	—

* 2025/5/13公表

25年度通期予想-セグメント別 営業利益



主なセグメントの営業利益

セグメント	サブセグメント	FY24			FY25予想			前年比			前年比の主な要因
		Q1	Q2~Q4		Q1	Q2~Q4		Q1	Q2~Q4		
		a			b			b-a			
インフラ	情報通信ソリューション	▲ 40	0	▲ 40	▲ 7	82	75	+33	+82	+115	・ データセンタ関連製品の売上増 (増産投資効果の発現)
	エネルギーインフラ	13	85	98	8	57	65	▲ 4	▲ 29	▲ 33	・ 個々の案件の採算性の違い
電装エレクトロニクス	自動車部品・電池	36	240	276	56	164	220	+20	▲ 76	▲ 56	・ 古河電池の非連結化 (Q4) ・ 中国・東南アジア市場での売上減 (Q2~) ・ 固定費の増加
	電装エレクトロニクス材料	6	44	50	10	40	50	+5	▲ 5	0	
機能製品		34	107	141	40	130	170	+6	+23	+29	・ データセンタ関連製品の需要堅調
連結合計 (サービス・開発等、消去等含む)		35	436	471	84	446	530	+49	● +10	+59	

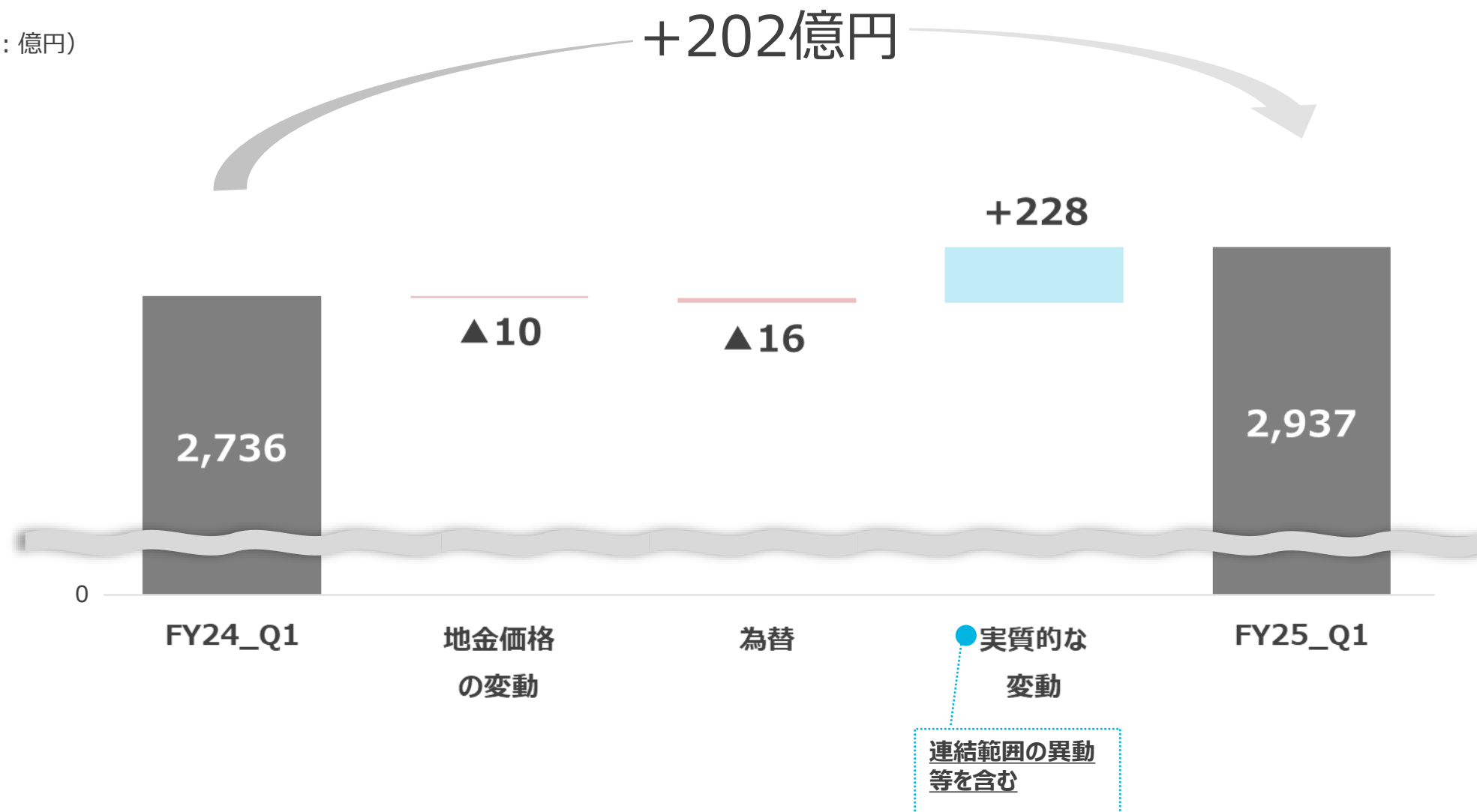
うち 為替影響 約▲40億円

(参考) 上段：銅建値平均 円/kg、下段：為替平均 円/米ドル

FY24_Q1	FY25_Q1	FY24_Q2~Q4	FY25_Q2~Q4	FY24	FY25(参考値)
1,570	1,424	1,448	1,335	1,478	1,357
156	145	152	140	153	141

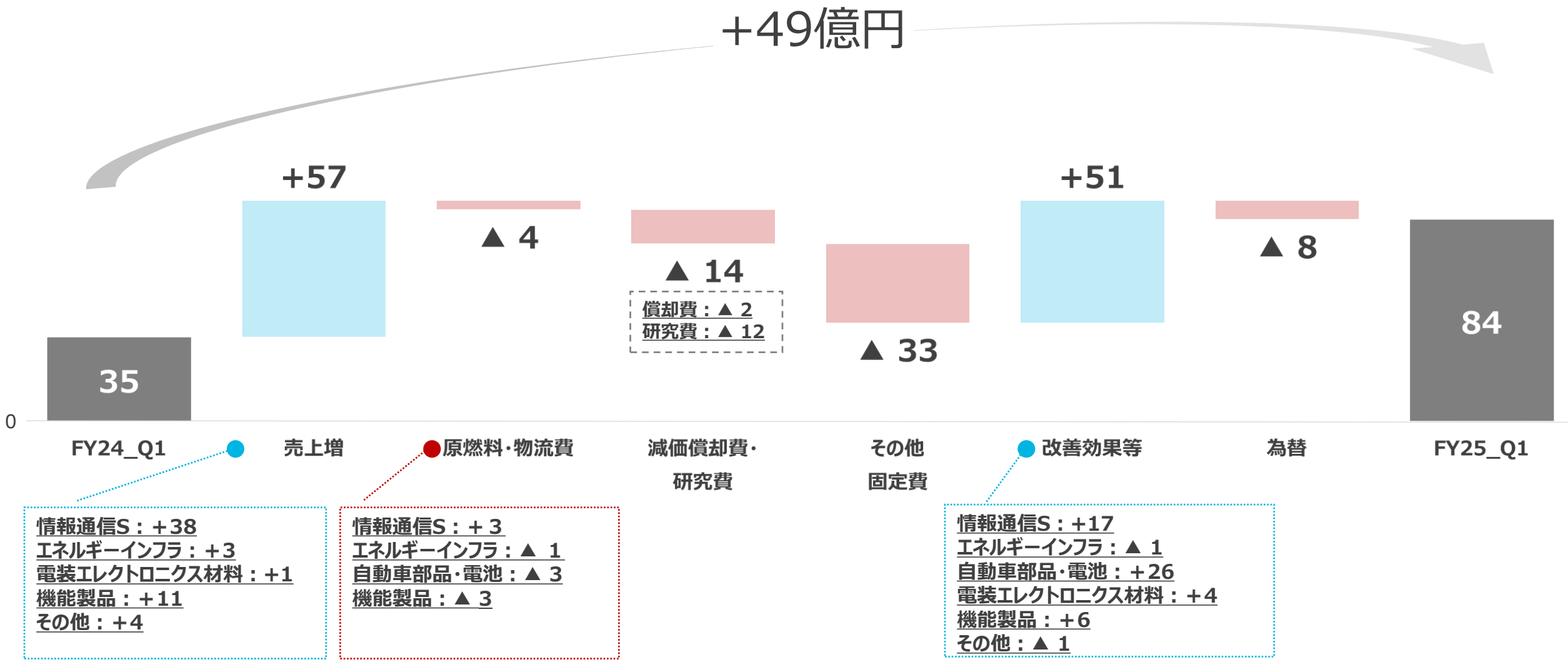
25年度Q1実績-売上高の増減要因

(単位：億円)



25年度Q1実績-営業利益の増減要因

(単位：億円)



1-(1) インフラ(情報通信ソリューション)

FY25_Q1

増収・増益

(単位：億円)

	FY24_Q1	FY25_Q1	前年比
	a	b	b-a
売上高	370	470	+100
営業利益	▲ 40	▲ 7	+33

【増減益要因】

(+) データセンタ向け製品等の売上増

FY25_通期予想

(単位：億円)

	FY24	FY25 前回予想*1	FY25 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	1,670	2,350	2,350	+680	—
営業利益	▲ 40	75	75	+115	—

据え置き

事業環境の認識

>>

FY25_H1

FY25_H2

>>

データセンタ市場向け需要増
(データセンタ事業者・ダークファイバプロバイダ・通信システムプロバイダ)

注力ポイント

- 米国関税措置への対応
- データセンタ向け製品の開発・製造・販売体制強化

ローラブルリボンケーブル・
ソリューション

MTフェルール

DFBLレーザ*2

*2 Distributed Feedback Laser (分布帰還型レーザ)

1-(2) インフラ(エネルギーインフラ)

FY25_Q1

増収・減益

(単位：億円)

	FY24_Q1	FY25_Q1	前年比
	a	b	b-a
売上高	318	333	+15
営業利益	13	8	▲ 4

【増減益要因】

・国内超高圧・再エネ関連・機能線の
需要は引き続き堅調

FY25_通期予想

(単位：億円)

	FY24	FY25 前回予想*	FY25 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	1,421	1,400	1,400	▲ 21	—
営業利益	98	65	65	▲ 33	—

据え置き

事業環境の認識

	FY25_H1	FY25_H2
>>		>>
国内超高圧	堅調な国内地中線の更新・再エネ関連需要	
海底線		
中国国内	需要回復時期は不透明	
機能線/部品	堅調な需要	

注力ポイント

- 利益重視の受注
- ケーブル製造および工事施工能力の増強
 - 国内超高圧・海底線
 - 再エネ関連
- マーケティング活動の推進による拡販
 - らくらくアルミケーブル®
 - 送配電部品

2-(1) 電装エレクトロニクス(自動車部品・電池)

FY25_Q1

増収・増益

(単位：億円)	FY24_Q1	FY25_Q1	前年比
	a	b	b-a
売上高	941	962	+21
営業利益	36	56	+20

【増減益要因】

- (+) 価格適正化
- (+) 電池は堅調

*1 2025/5/13公表

*2 電池事業非連結化の影響（Q4を想定）
売上高：▲約210億円
営業利益：▲約20億円

FY25_通期予想

(単位：億円)	FY24	FY25 前回予想*1	FY25 予想	前年比*2	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	4,095	3,450	3,700	▲ 395	+250
営業利益	276	200	220	▲ 56	+20

上方修正

事業環境の認識

>>

FY25_H1

FY25_H2

>>

自動車
部品

自動車生産台数は前年並み

中国・東南アジア市場での売上減

電池

Q4からの非連結化を想定

注力ポイント

- ・ 米国関税措置への対応
- ・ 電動車市場に向けた製品開発
- ・ 組み立ての自動化

アルミワイヤハーネス・高電圧対応品

2-(2) 電装エレクトロニクス(電装エレクトロニクス材料)

FY25_Q1

増収・増益

(単位：億円)

	FY24_Q1	FY25_Q1	前年比
	a	b	b-a
売上高	731	774	+43
営業利益	6	10	+5

【増減益要因】

・営業利益は前年並み

(参考)
銅建値平均 円/kg
為替平均 円/米ドル

FY24_Q1	FY25_Q1
1,570	1,424
156	145

*1 銅価・為替変動の影響を含む

*2 2025/5/13公表

FY25_通期予想

(単位：億円)

	FY24	FY25 前回予想*2	FY25 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	3,270	2,950	2,950	▲ 320 *1	－
営業利益	50	50	50	0	－

据え置き

事業環境の認識

>>

FY25_H1

FY25_H2

>>

エレクトロニクス関連製品需要は回復傾向

注カポイント

- 高付加価値製品の拡販による製品ミックス改善

耐熱無酸素銅条
(パワー半導体・放熱部品用)

リボン線・極細平角線
(通信・インフラ用)

高機能製品
(抵抗材等)

- 販売価格の適正化と低採算品種の撤退

セグメント別売上高・営業利益

3 機能製品

FY25_Q1

増収・増益

(単位：億円)

	FY24_Q1	FY25_Q1	前年比
	a	b	b-a
売上高	359	373	+14
営業利益	34	40	+6

【増減益要因】

- (+) データセンタ関連製品の売上増
- (-) 台湾ドル高の影響（銅箔）
- (-) 主要顧客の需要変化に伴う減収（半導体製造用テープ）

* 2025/5/13公表

FY25_通期予想

(単位：億円)

	FY24	FY25 前回予想*	FY25 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	1,470	1,850	1,600	+130	▲ 250
営業利益	141	190	170	+29	▲ 20

下方修正

事業環境の認識

>>

FY25_H1

FY25_H2

>>

データセンタ関連投資の活況継続

為替影響（台湾ドル高）

中国の半導体内製化進行

注力ポイント

- データセンタや再エネ関連市場向け高付加価値製品の増産・拡販

半導体
製造用テープ

高機能
フォーム製品

高機能放熱・
冷却製品

HDD用薄型
アルミ blanks 材

高周波基板用
銅箔

25年度Q1実績-要約B/S

(単位：億円)	FY24末	FY25_Q1末	増減
	a	b	b-a
流動資産	5,564	5,398	▲ 166
現金及び預金	600	511	▲ 88
受取手形、売掛金及び契約資産	2,606	2,476	▲ 130
棚卸資産計	1,950	1,989	+39
固定資産	4,306	4,342	+36
有形固定資産	2,770	2,753	▲ 17
無形固定資産	229	228	▲ 0
投資その他の資産	1,307	1,360	+54
資産合計	9,870	9,740	▲ 130
流動負債	3,945	3,769	▲ 176
固定負債	2,192	2,273	+81
負債合計	6,137	6,042	▲ 95
株主資本	2,915	2,884	▲ 31
その他の包括利益累計額	499	501	+2
非支配株主持分	319	313	▲ 6
純資産合計	3,733	3,698	▲ 35
負債・純資産合計	9,870	9,740	▲ 130
自己資本比率	34.6%	34.8%	+0.2
NET有利子負債	2,462	2,727	+265
NET D/Eレシオ	0.72	0.81	+0.08

棚卸資産 39億円 増加

将来売上予定のプロジェクト・工事案件等の影響 +38億円

有形・無形固定資産 17億円 減少

投資その他資産 54億円 増加

投資有価証券： +55億円

資産合計 130億円 減少

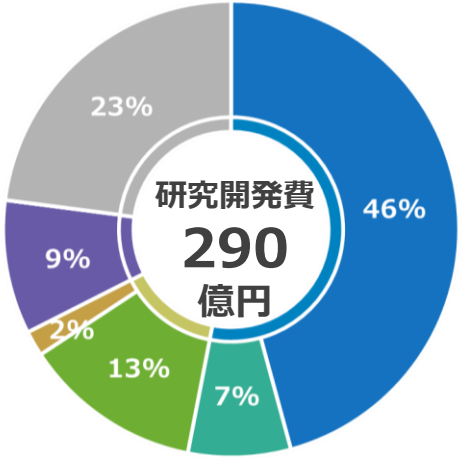
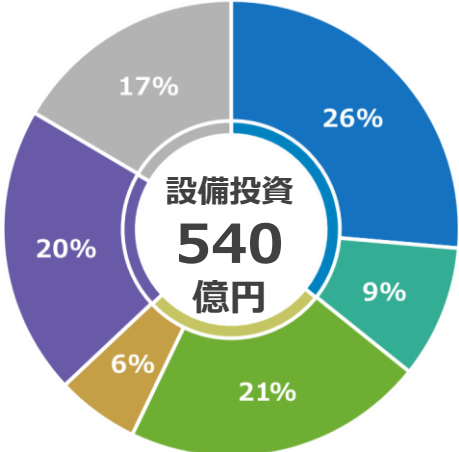
為替変動の影響： ▲127億円

■ 通期予想は据え置き

((2025/5/13公表))

(単位：億円)	FY24_Q1	FY25_Q1	前年比
	a	b	b-a
設備投資額	69	89	+20
減価償却費	101	103	+2
研究開発費	64	76	+12

FY24	FY25 予想	前年比
c	d	d-c
386	540	+154
413	420	+7
254	290	+36



- 情報通信ソリューション
- エネルギーインフラ
- 自動車部品・電池
- 電装エレクトロニクス材料
- 機能製品
- サービス・開発等

ご清聴ありがとうございました
Thank you

古河電工グループ パーパス

「つづく」をつくり、
世界を明るくする。



Appendix

- セグメントと事業部門

Appendix セグメントと事業部門

Segment	Sub-segment	Business Division
インフラ	情報通信ソリューション	光ソリューション（ファイバ・ケーブル）
		ファイテル製品
		ブロードバンドソリューション
	エネルギーインフラ	電力
		産業電線・機器
電装エレクトロニクス	自動車部品・電池	自動車部品
		電池
	電装エレクトロニクス材料	導電材
		銅条・高機能材
機能製品		AT・機能樹脂
		サーマル・電子部品
		メモリーディスク
		銅箔
サービス・開発等		